

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用口					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	「理想の自分、なりたい自分」と価値観					
【前期】 9～13回目	ビジョン・ゴール					
【前期】 14～19回目	感情のコントロール					
【後期】 20～24回目	思考のルール					
【後期】 25～27回目	リーダーシップ					
【後期】 28～33回目	チームビルディングとフォローシップ					
【後期】 34～37回目	物事のとらえ方(パラダイムシフト)					
【後期】 38回目	コミュニケーション力					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ProTools講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ProTools講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース、ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングスタジオで7年間アシスタントとして多くのことを学び、その後レコーディングエンジニアだけではなく、5000人規模のライブ録音や50人規模のライブPAなど音を操る場で幅広く活動。					
授業概要						
PC画面での音素材の加工や、ミックス作業を行う。						
到達目標						
Pro Toolsを使用したレコーディングに関するオペレーションスキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	DAW関連について(ProToolsについて/音の仕組み) ProToolsの基本(ProToolsについて(録音～ミックス～MAの流れ)ファイル構成)					
【前期】 6～10回目	ProToolsの基本的な操作 (リバーブ・ディレイの立ち上げ方/EDIT ツールの説明・作業・フェード作成)					
【前期】 11～15回目	ProToolsの基本的な操作 (リバーブ・ディレイの立ち上げ方/EDIT ツールの説明・作業・フェード作成)					
【前期】 16～19回目	ProToolsの基本的な操作 (オーディオ編集の操作方法/ヴォーカル編集_Reverb操作応用・リズム・タイミング) 前期試験					
【後期】 20～24回目	ProToolsの実践的な操作(EQ/コンプ/エフェクターについて/ミックスバランスについて/マキシマイザーについて(Sound Pressure Level))					
【後期】 25～29回目	ProToolsの実践的な操作(オートメーションについて/ライブミックス作業もしくはMA作業)					
【後期】 30～34回目	ProToolsの応用的な操作(バウンス方法について(Wav / mp3)/ミックス作業)					
【後期】 35～38回目	ProToolsの応用的な操作(ミックス作業) 後期試験					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	パソコン講座Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	パソコン講座Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース□				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 6～10回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 11～15回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 16～19回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 20～24回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 25～29回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 30～34回目	Excellによる計算法 Excellによる精算書作成					
【後期】 35～38回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	Eメールの使い方/Eメールのアドレス帳の活用 言葉による状況説明①(時系列) 就職活動セミナー①					
【前期】 6～10回目	言葉による状況説明②(情報の整理)/言葉による状況説明③(話の要約)/言葉による状況説明④(主観と客観) 文章の書き方①(話し言葉、書き言葉)/文章の書き方②(5W1Hの活用)					
【前期】 11～15回目	ビジネスメールの書き方 就職活動セミナー② ビジネス文書①(文書の種類)/ビジネス文書②(社内文書)					
【前期】 16～19回目	ビジネス文書③(社外文書)/ビジネス文書④(社交文書) コミュニケーション論(概論)/非言語コミュニケーション/表情とコミュニケーション					
【後期】 20～24回目	就職活動セミナー③ 距離によるコミュニケーション/言語コミュニケーション/説得的コミュニケーション					
【後期】 25～29回目	敬語①(敬語の分類)/敬語②(尊敬語)/敬語③(謙譲語)/敬語④(間違いやすい敬語)/敬語⑤(仕事でよく使われる敬語)					
【後期】 30～34回目	就職活動セミナー④ 履歴書の書き方①(基本データ)/履歴書の書き方②(自己PR)/履歴書の書き方③(志望動機)					
【後期】 35～38回目	【心理学講座】 自分を知る/社会からの影響/他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	エンタメ業界講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	エンタメ業界講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース 企画制作コース/アーティストスタッフコース/音楽スタッフ総合コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	2001年に株式会社ドワンゴへ入社。部長職を経験後、音楽レーベル子会社へ転籍、プロデューサー職へ。ボーカロイドをはじめとするニコニココンテンツや声優・ラジオコンテンツのCDパッケージを数多く担当。現在はフリーランスとして、ネットやアプリの配信番組も多く担当、その他、動画の撮影編集、SNSを含めた運営及び運用、専門学校講師等に従事。					
授業概要						
アーティスト/タレントとプロダクションを中心とする、エンタテインメント業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。						
到達目標						
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	芸能業界の全体像について					
【前期】 6～10回目	プロダクションの業務内容について レコード会社の業務内容について					
【前期】 11～15回目	著作権について 音楽出版社の業務内容について					
【前期】 16～19回目	TV・ラジオ/書籍出版社/Webメディアの業務内容について 媒体研究					
【後期】 20～24回目	RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオについて					
【後期】 25～29回目	映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロについて					
【後期】 30～34回目	ホール/ライブハウス/イベントについて					
【後期】 35～37回目	PA/照明/舞台/ローディー/機材レンタル会社について					
【後期】 38回目	総括。					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	適宜Webサイト上の関連ページを提示し、授業を実施。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	楽器概論Ⅰ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	楽器概論Ⅰ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
現場でのセッティングから技術的、理論的なことまで基礎知識およびローディー以外の現場セクションのことを学ぶ。						
到達目標						
ローディーという現場で行われている事項の理解、円滑に仕事を進められる知識の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ドラムの歴史(各太鼓の名称、サイズ) ドラムの取り扱い方、ケースの出し入れ方法 シンバル、シンバルスタンドについて					
【前期】 6～10回目	ドラムの表記(省略表記。各ハードウェアの名称) キーボードの歴史音楽録音と音楽制作の歴史 MIDIの基礎					
【前期】 11～14回目	ギターの基礎 ベースの基礎 ギターアンプの基礎					
【前期】 15～18回目	ベースアンプの基礎 エフェクターの基礎 シールドの基礎					
【前期】 19～21回目	コネクターの基礎 楽器の仕事について ローディーの一日の流れ					
【後期】 22～27回目	音楽業界、他セクションの仕事内容について ツアー中の他セクションとローディーの関わり バンドセッティング図面を読む					
【後期】 28～31回目	PA特別授業 照明特別授業 舞台特別授業					
【後期】 32～35回目	ピアノ特別授業 管楽器特別授業					
【後期】 36～39回目	レコーディング特別授業 秋葉原電気街見学					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージベーシック実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージベーシック実習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアーし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
舞台に関する基本的な知識、企画ライブ等のシミュレーション、ハンダの基本的な使い方、シールド製作等、舞台全体の基礎知識を学ぶ。						
到達目標						
楽器に関すること以外の現場で必要な知識の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	舞台用語の基礎 舞台に関する事 ステージ電源について					
【前期】 6～10回目	外部研修対策について 機材車(ハイエース)の積み込み方法 ステージ図面の読み解き方、転換の考え方と実践、バミリの仕方					
【前期】 11～14回目	バンド台の組み方 イベント対策について 企画ライブシミュレーションについて					
【前期】 15～18回目	転換実習 野外対策方法について					
【前期】 19～21回目	電源の基本 スライダックのセッティング 電源の引き回し、セッティング					
【後期】 22～27回目	ハンダ座学 ハンダ基本練習 シールド作成					
【後期】 28～32回目	電源タップ作成 マイクケーブルの作成					
【後期】 33～37回目	TRSプラグの作成 パッチケーブル作成					

評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。
------	--

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ローディー実習Ⅰ－A	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
各楽器の取扱い方、結線システムの構築を実際に行う。						
到達目標						
ローディーの基本技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	ギターの基礎 ベースの基礎 チューニングの基本					
【前期】 6～10回目	弦交換の基本 ペグの種類による違い ギターの音が出る仕組み ギターの構造					
【前期】 11～15回目	重量物の取り扱い方実践 アンプの歴史 エフェクターの基本					
【前期】 16～18回目	アンプセッティング～エフェクターセッティング ハードケースの扱い方 インピーダンス					
【前期】 19～21回目	エフェクターの省略記号 センドリターンについて ラックケース					
【後期】 22～25回目	エフェクターの電源 楽器メーカー名読み書き エフェクターボード作成					
【後期】 26～31回目	機材極性の測定方法とマーキングのルール ベースアンプBi-Amp実践 スピーカーインチ数の考え方					
【後期】 32～36回目	ケーブル特性 アンプの転換～セッティング ベース用エフェクターの考察					

評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。
------	--

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実地演習Ⅰ		授業形態 / 必・選	演習	必修	
	学則上表記	ローディー実地演習Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。					
授業概要						
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。						
到達目標						
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。						
授業計画・内容						
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント					
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場					
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場					
4～5回目	ゲスト講師によるローディー・楽器テクニシャン授業					
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)					
備考						